

観光客 円滑な避難誘導へ

内宮前 大地震想定し訓練

円滑な避難誘導へ

内宮前 大地震想定し訓練

観光客



車いすなどで避難する参加者  
＝伊勢市のおはらい町通りで

来秋に式年遷宮を控え、観光客の増加が見込まれる伊勢市の伊勢神宮内宮前一带で六日、大地震の発生を想定した避難訓練があった。地元のまちづくり団体「伊勢おはらい町会議」と新修地区自主防災隊の主催で、昨年が続いて実施。

約百店が軒を連ねる内宮前では、災害時に観光客の円滑な避難誘導が大きな課題。同会議に市の委託を受け、今年二月に避難マニュアルを作成しており、訓練ではマニュアルの確認や問題点の洗い出しも行われた。

訓練には、内宮前のおはらい町通りで働く同会議の会員や地域住民ら計約百人が参加。無線で地震発生が告げられると、会員らが「避難」と書かれた旗を掲げ、観光客の誘導を想定して近くの駐車場二カ所に移動した。

伊勢おはらい町会議の前田世利子会長（五七）は「地域住民が冷静に誘導したい」と話していた。（中平雄大）